

令和2年度 国際自然環境アウトドア専門学校 学校評価委員会 議事録

開催日時：令和3年3月30日 13時～14時

会場：コロナ禍の影響によりオンラインでの開催とした

出席者：

評価委員

- ・ 畠山 浩一 公益社団法人日本山岳ガイド協会 常務理事
- ・ 萩原 浩司 株式会社山と溪谷社 主幹 山岳図書出版部長
- ・ 星野 浩一 国立妙高青少年自然の家 所長
- ・ 山崎 一 妙高市観光商工課 課長補佐
- ・ 大瀧 則雄 学校長
- ・ 小山 敏行 副校長/事務局長
- ・ 田辺 慎一 野外教育・アウトドアスポーツ学科主任
- ・ 斎藤 達也 自然ガイド・環境保全学科主任
- ・ 松井 茂 山岳プロ学科 主任

議事進行次第により実施

1. 大瀧学校長挨拶

昨年同様コロナ禍の影響でオンラインでの員会となった。この一年間コロナ禍の中で様々先生方での創意工夫、対応をお願いしてまいりました。

3月2日に卒業証書授与式を挙行し、卒業生を送り出すことができました。

次年度の状況も大きな変化がないとは思いますが、4月10日にNSGカレッジリーグ29校合同でのWeb入学式を挙行する予定となっております。

また、今後も皆様方からのご意見を頂きながら進めて行く事になるかとは思いますが、引き続きよろしく願いいたします。

2. 議事

小山委員以下内容の説明を行う

1) 説明

(ア)学校関係者評価委員会について

(イ)職業実践専門課程について

(ウ)令和2年度自己評価について

議事内容を説明後各委員の皆様方に審議をお願いした。

畠山委員

教育環境の項目について

学内に高さ15mのクライミングウォールが設置されているが、授業で来校している講師より次のような意見が届いている。

フリークライミングの世界は、日進月歩で情報、技術が進化している。常に学校では最新の技術を取り入れる必要があると感じている。クライミングウォールのメンテナンスがあまり良くない。専門学校でこのような施設をもっている学校はすごい環境にあると思うのでメンテナンスができる人、適切な環境作りを協会も協力するので行っていただきたい。

萩原委員

教育環境の項目について

コロナ禍の影響を受けて、国際交流や海外研修等思うように実施できなかったと思うが、オンラインでの研修等新しい方法でのやり方、行ったことについてお聞かせいただきたい。

田辺委員

萩原委員への回答

野外教育・アウトドアスポーツ学科では、今年度灌漑研修の実施は難しかったので、カリキュラムにあわせて、課題設定やワークショップを開くなどの内容でおこなった。

スノーピークさが海外との拠点を増やしているのので、海外拠点のホームページを観て、それを学生と共に観ながら、日本のメーカーがどのように展開しているのか、海外のアウトドア事情を学生と共に調べる等の時間を設けて実施をした。

斎藤委員

萩原委員への回答

自然ガイド・環境保全学科では、一昨年イエローストーンでの海外研修旅行を私（斎藤）が担当していたので、現地で使われている環境教育資料と一緒に隠匿しながら英語で子供達にどのように伝えたらよいのか、セミナー形式で行いました。本来であれば海外からのコミュニケーションがあるべき状態ですので、今後国内環境を活用しながらできるものを模索していきたい。

星野委員

当施設も学生たちの学習のフィールドとしてお使いいただけて大変ありがたく思っています。

保護者の評価の中で、キャリア教育資格についての評価点が他の他の項目と比べ低くなっているような感じがする。保護者に対する取り組みが伝わっていないと感じるが対策はどうなっているのか。

小山委員

当校の学生は、ほとんどが学生寮やアパートで生活しており、保護者に伝わり難い部分もある。今後 SNS や LINE、ホームページ等を活用し保護者との連携を更に深めてゆきたい。

山崎委員

特段ないが、コロナ禍の中で学校運営が難しいと思いますが、引き続きよろしく願いいたします。

閉会